

留 学 報 告 書

記入日:2019年08月24日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学研究科
留学先国	フランス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: フランス国立東洋言語文化大学 現地言語:
留学期間	2018年09月～2019年06月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年07月31日
明治大学卒業予定年	2020年03月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月中旬～12月下旬 2学期:1月上旬～6月上旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	8596人
創立年	1971年

留学費用項目	現地通貨 (€)	円	備考
授業料		960,000円	協定留学の為 INALCO への授業料はなし。明治大学の授業料一年分。
宿舍費	5,159€	56,280円	469€×11ヶ月
食費	1,650€	198,000円	150€×11ヶ月
図書費	600€	72,000円	
学用品費	25€	3,000円	
教養娯楽費	1,300€	160,000円	
被服費	140€	16,800円	
医療費	20€	2,400円	
保険費	954€	114,500円	形態:明治大学海外安心サポート
渡航旅費	1,400€	168,000円	
雑費	98€	11,760円	携帯料金 8,99€×11ヶ月
その他	458€	54,960円	帰り荷物郵送代
その他		円	
その他		円	
合計	11,804 €	1,416,480 円	※1€=120円換算

渡航関連

渡航経路: 日本～中国、中国～フランス

渡航費用

チケットの種類	エコノミークラス
往路	11万円
復路	7万円
合計	18万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

中国国際航空、エミレーツ航空

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

パリ 14 区にある大学寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

INALCO 担当者による手配

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

キッチン、洗濯機は共同。洗濯機は有料(一回 3,5€)だが乾燥機は無料。費用節約のためできる限り部屋で手洗いをして乾燥機だけ使っていた。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した: 付属病院

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

現地の友人

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

在仏日本大使館にたびレジの登録をすると細かい情報が度々メールで送られてくる。また、2018年11月頃から始まった黄色いベスト運動が帰国する時まで継続して毎週土曜に行われており、シャンゼリゼ通りやその他デモが行われている一部の地区で警察とデモ隊の衝突が起こると、催涙弾や発泡音、警察車両のサイレンが鳴り響くなど物騒な雰囲気になる場面を目撃したが、実際に盗難や犯罪に巻き込まれることは一度もなかった。催涙弾が直接通行人の目にあたって目を負傷するという事故も起きていたため、危険を感じたら近くの建物の中へ避難して落ち着くを見図うなど、物騒な場面に遭遇したときは気をつけていた。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

フランスについてから現地の携帯会社で SIM カードを購入するまで、駅のフリーWIFI を使ってパソコンでネット接続ができた。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

CAF の住宅手当を受け取るために現地の銀行で口座開設をしたが、それ以外の資金は日本の銀行口座預金から引き落とされるデビットカードを使用していた。また、ネットバンキングを使って、日本に複数ある自分の銀行口座間での送金を行っていた。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

洗濯ネット

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> その他: 卒業後に就職先を探す
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 一年間の留学を終えて、今度は仕事でフランスに来て滞在したいという希望を抱いた。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Sciences sociales du Japon Contemporain I ; Histoire	現代日本の社会科学 1: 歴史
科目設置学部・研究科	大学院日本学部
履修期間	半年
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が12回
担当教授	M.Arnaud GRIVAUD/Mme.Kanae SARUGASAWA
授業内容	「現代日本社会」という授業全体の共通テーマのもと、世界各国から招かれた日本社会の研究者の報告を聞き、質疑応答を行うという授業。取り扱われたテーマは、戦後日本の政治社会の変遷、日本における女性の社会進出、日本の幸福度のパラドックス、今日の日露関係、90年代以降の日米関係の展開、日本社会とボランティア、日本社会とジェンダー、など。
試験・課題など	初めに渡される半期ごとの授業予定の中から、特に自分の関心のある回の報告テーマ一つ以上選び、その授業内容の完結なまとめ、及び自分の考えを記したレポートが必須課題であった。試験に関しては、通常は4時間の筆記試験だったが、留学生の私には先生が考慮して、同じ試験問題の回答に1週間の期間を与えてくれた。
感想を自由記入	海外の研究者から外国語でなされる日本社会についての講義は、日本から物理的にも精神的にも距離を置いて日本社会を思考することができる良い機会であった。授業はフランス語と英語(報告者による)によって行われたので、フランス語に傾倒できなかった点は少し困難であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Correction Phonétique	留学生のためのフランス語(発音)
科目設置学部・研究科	
履修期間	1年
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (一人一台のパソコンを使用) (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が26回
担当教授	Mme.Argaud
授業内容	類似した母音間、子音間の違いを区別して聴く、話すことができるように毎回2、3の発音記号を集中して練習するというもの。
試験・課題など	課題はなし。試験は授業中に行われる3回の中間テストのみ。内容は授業内容から、テストはリスニング形式。
感想を自由記入	すでに知っている範囲を取り扱うこともあったが、特に母音の違いが5つしかない日本人にとって16種類の母音を使い分けるフランス語の発音を丁寧に学ぶこの発音の授業は重要な授業であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Expression orale en français	留学生のためのフランス語(会話)
科目設置学部・研究科	
履修期間	半年
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が12回
担当教授	Mme.Brumelot
授業内容	フランスの日常生活の中の場面で使われる語彙や表現などについて先生の説明を受けながら学び、また同じ講義を受ける留学生同士で先生の設定した話題について会話をしたりする。
試験・課題など	課題は特になし。試験に関しては、授業中に簡単な口頭の試験が2回ほどあった。3~4人でグループをつくり、グループでごとにプレゼンを用意してみんなの前で発表した。テーマは大学生活、宗教、結婚、伝統的な生活などで、発表者は自分の生まれ育った国の事情を写真やパワーポイントを用意して話した。
感想を自由記入	世界各国からきた留学生が参加していたので、授業中に各国の生活習慣の話の聞いたり話を求められることも多かった。一緒に授業を受けたのはシリア、トルコ、イタリア、ドイツ、韓国、ベトナムなどから来た留学生で、フランス語を通じて様々な国から来た人と交流できる良い機会であった。最後の授業ではそれぞれ伝統料理やお菓子を持ち寄って試食会のようなものも開かれた。



履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Compréhension écrite en français	留学生のためのフランス語(読解)
科目設置学部・研究科	
履修期間	半年
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が12回
担当教授	Mme.Brumelot
授業内容	指定されたテキストに沿って、先生の解説を聞きながら 文法や読解などの練習問題などを行う。
試験・課題など	課題は大抵テキストの問題の中からその日の授業の復習として出された。テストは授業で取り扱った範囲の中から出され、筆記試験のみ。
感想を自由記入	読解の授業とはいえ、他のフランス語の授業と同様、学生が積極的にフランス語を使って疑問点を質問したり、口頭表現したりすることが求められる。テキストは日常生活に即したテーマが主であり、その他の授業(口頭表現)との違いがあまり明確ではない部分もあった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Expression écrite en français	留学生のためのフランス語(文章表現)
科目設置学部・研究科	
履修期間	半年
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が12回
担当教授	Mme.Celine Peigné
授業内容	その日に授業で取り上げる文法の規則を講義形式で理解してから、各自自宅で文章表現の課題を行い、翌週の授業に提出する。毎回提出した課題は翌週に添削されて戻ってくる。
試験・課題など	授業でその日に扱った文法規則を使って文章作成をする課題が毎週ある。試験は筆記試験のみで、試験問題は半期の間で取り扱った授業内容および文章表現などから成る。
感想を自由記入	大講堂での講義形式の授業だが、先生の一方的な説明ではなく、その場で学生からの疑問や発言が自然に飛び交うような生き生きとした授業であった。担当教授の下で学んでいるフランス語教育専攻の大学院生7名ほどが共に授業に参加し、授業を担当したり授業中の積極的なサポートなどをしてくれた。



履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Compréhension orale en français	留学生のためのフランス語(聴解)
科目設置学部・研究科	
履修期間	半年
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が12回
担当教授	Mme.Brumelot
授業内容	先生の用意してくる音源を使って、幾つかの設問とともに聞き取りの練習を行う。先生が各生徒に発言を求め、その場で特に難しい点や会話表現、文法等の解説を行う。
試験・課題など	課題は特になし。試験は授業中に3回ほど行われた中間テストとしての筆記試験のみ。設問は全てリスニング問題。
感想を自由記入	聞き取りの際の難点や表現に関する疑問点があれば、自由に発言して先生に解説を求めることが出来る点では為になる授業であった。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	留学する意志を固める
10月～12月	留学説明会、DELTA 試験準備、明治大学での協定留学生者選考
2018年 1月～3月	DELTA 受験
4月～7月	留学先大学へ出願書類提出、留学先大学と連絡
8月～9月	渡航準備、渡航、語学学校
10月～12月	一学期授業、試験、秋・冬休み
2019年 1月～3月	冬休み、二学期授業
4月～7月	二学期授業、試験、春・夏休み
8月～9月	帰国
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	第二外国語として選択したフランス語を教えて頂いた先生を通してフランスに興味を持ち始めた大学二年生の頃から、修士課程二年に至るまで実現することなく心にとどめ続けたフランス留学への願望を、このままいつまでも内に留め続けるべきではないと思ったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	内面的な心の準備がもう少し早くできたら良かったと思いました。というのも私はフランスに一度留学へ行きたいと思いはじめた時から、実際に実行しようと思うまでにとっても長い時間がかかったからです。 留学してからのことを、留学する前から計画し方向づけることは難しいです。それよりも一度新しい環境に身を置く経験は、その中で自分の考え方がどのように変わり、次にどのような方向を目指すようになるかということを知ることができる機会であり、その機会をもっと早く持
この留学先を選んだ理由	留学を決断してから毎日のようにフランス語の試験勉強をしていたとはいえ、いきなり大学の授業についてゆくことに対してやはり不安があったため、留学生に対するフランス語の授業が設けられているこの大学が自分に合っていると思ったからです。
大学・学生の雰囲気	多種多様な国、地域(特に西洋以外)の言語と文化を学ぶ学生が集まっているので、異なる文化や人種に対して開放的で、自由な印象を受けました。様々な国から来た留学生とも交流することができました。
寮の雰囲気	各階ごとに共同キッチンがあり、そこに居合わせた寮友と自然に言葉を交わしてすぐにお互い知り合えることができました。特に私の部屋があった階には様々な国から来た留学生が住んでおり、何度か自分の国の伝統料理を作ってみんなで分け合うという夕食パーティーを行いました。また一ヶ月に一度、寮全体で開催される BRANCH イベントというものがあり、そこでは無料でちょっとした朝食が用意されることもありました。Cité universitaire は大きな大学寮なので寮全体でも様々なイベントがあり、一般の人にも開放してかなり開放的な雰囲気でした。
交友関係	渡仏した当初、知り合いが一人もいない状態でしたが、INALCO の DEJIMA という日本サークルの学生がパリの駅に到着した日に寮や学校まで案内をして助けてくれました。日本学部のある INALCO では学校のカフェで日本語を勉強している現地学生もみかけ、留学生も友達を作りやすい環境でした。INALCO 内でも大勢が集まって盛り上がるようなパーティーやイベント等が何度か開催されているようでしたが、そういった場所に限らず交友関係を築ける機会は日常的な自分の行動範囲の中にもありました。パリで知らない人同士が一言二言、ちょっとした挨拶や言葉を交わすことは珍しくなく、そうした偶然の出会いから深く付き合うようになった友人もできました。
困ったこと、大変だったこと	渡航してから1~2ヶ月経過した頃におそらく食生活の変化のためか、一度高熱を出して寝込み 2、3 日大変な思いをした他、一年間という限られた留学期間を”リミット”のように感じて、それが大きなプレッシャーになっていたことがありました。結局それは体調の乱れとなって現れ、それ以降自分の考え方を考えようとしてきました。また、CAF の住宅手当の手続きが最初ネット上で記入したとき内容にミスがあったために順調にいかず、何度か事務所へ足を運んで受付の人に説明し、結局 10 月に手続きを始めた住宅手当の支給が開始され始めたのは翌年 3 月からでした。
学習内容・勉強について	日本社会、特に戦後日本の政治、社会を専攻しました。当初は日本社会のことだけでなく、フランス社会及びフランスの旧植民地社会などの分野も視野に入れて授業を履修することを考えていましたが、実際に現地での授業を受けてみて、自分の語学能力と帰国後に本格的に取り掛かる修論の方向性を考慮し、考え直しました。学校での課題や試験の準備にかかる時間を減らす一方で、修論の準備に充てられる時間を増やしたので、国立図書館や寮の図書館で自習することも多かったです。

課題・試験について	フランス語以外の授業をあまり履修しなかったため、膨大な課題に苦しめられることはあまりありませんでした。一つ履修した大学院の授業の課題と試験は少し大変でしたが、自分自身の関心に沿って選択した授業だったので悪銭苦闘した末に理解が深まることはとても有意義に思いましたし、初めてフランス語でレポートを作成したときは達成感を覚えました。
大学外の活動について	フランスの友人と会い、会話をする機会を大切にしていました。また、誰でも自由に入ることのできる市民大学(Collège de France)へ通って何度か講義を聴講することもありました。またフランスの書店や映画館などで開催される講演会などにも度々足を運んでいました。
留学を志す人へ	自分が日本とは全く環境の違う外国へ行ったらどうなるのかということは、日本にいながらにして絶対に想像のつくものではありません。留学に行く前に「なぜ留学へ行きたいのか」「留学の目的は何か」という問いを多少なりとも自問するかと思いますが、その時に、それまでの自分の考えや経験から自分を過小評価して、留学したいという願望を抑えるのは一番もったいないことであると同時に、無意味なことだと思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業【発音】	授業【会話】	起床	授業【聴解】	起床	起床	起床
	自習	自習	自習	授業【文章表現】	散歩	散歩	朝の市場
午後	自習	授業【聴解】	友人と会話	自習	美術館	友人と会話	散歩
	買い物、帰宅	自習	友人と会話	授業【現代日本社会】	散歩	友人と会話	散歩
夕刻	買い物、夕食	買い物、夕食	夕食	帰宅、夕食	買い物、夕食	友人と外出、夕食	夕食
夜	筆記	洗濯、お風呂	映画	お風呂	筆記	読書	お風呂、読書